

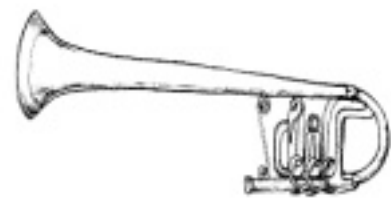
# MUSIC



暑さもようやくやわらいで、少し涼しくなり、秋の気配がしてましたね。秋といえば、芸術の秋。そのなかでも今月の特集は音楽。忘れられない思い出は音楽とともにある...昔聞いてた音楽を久しぶりに聞くと、その当時の思い出や感情がふわ～て浮かび上がってくることってありませんか？(わたしの友達は、学生の頃音楽を聴きながら自転車に乗っていて(あぶないのでマネしないでね!)、事故を起こしたことがあるそうで、いまでもそのときに聴いていた音楽が流れると、当時の事故のことを鮮明に思い出すんだそうです)今年本屋大賞をとった作家の宮下奈都さんもまた音楽に魅せられたうちの一人。宮下さんは「必要な音楽というのは、どこでどんなふうに出会ってもダイレクトに耳に飛び込んできてそのまま身体から出て行かない。」と下記の『学校では教えてくれない 人生を変える音楽』の中で書いています。NO MUSIC NO LIFEじゃないですが、音楽って人生を変えたり、励まされたり、癒されたり...思い出とともにいつでもそばにあるものなんですねえ。そんな本を2冊紹介します

## 『学校では教えてくれない 人生を変える音楽』

(14歳の世渡り術) 雨宮処凛[ほか]著  
河出書房新社 2013



小説家や、アイドル、芸人や音楽家、各界26人が愛する名盤・名曲を熱く深く語る...! 乙武洋匡さんは、次に自分が向かって行く道を探しているときに背中を押してくれた曲を。いつも夕飯の時間にはかならず家族で音楽をかけているというAKB48の松井咲子さんは、その夕食の時間にお母さんが流してくれたという曲を。漫画家の浦沢直樹さんは、まさかの買って失敗した!? アルバムを。作家の角田さんは、ある日タクシーに乗っていたときに流れ、「やばい、この人たちの音楽をいますぐぜんぶ聞かなきゃ」となった曲を。みんないろんな曲に出会っていて、その出会い方は、みんなさまざま読んでいてとても心ひかれます。わたしの人生を変える音楽も振り返ってみると、わたしはフジファブリックの曲たちです。(知っている人いますか?) いまは亡きボーカル志村さんがまだいた頃の曲たちがわたしの人生を変える音楽、忘れられない音楽です。当時想いをよせていた人から教えてもらったバンドで、一緒に聴いたり、一緒に歌ったり...いまでも彼らの音楽を聴くと当時の感情や思い出が一気に蘇ってきます。その人からはほかにもいろんな音楽を教えてもらって音楽がとても好きになったなあ、なんて淡い学生時代の恋の思い出です。。。あなたにも人生を変えた音楽、忘れられない音楽ってありますか??!

『Gus & Me ガス・アンド・ミー ガスじいさんとはじめてのギターの物語』  
キース・リチャーズ著 セオドラ・リチャーズ絵 奥田民生訳 ポプラ社 2014

ローリング・ストーンズのギタリストであるキース・リチャーズもまた、ギターと出会い、音楽と出会い、人生を変えさせられました。そんな大切なギターと出会わせてくれたのは、彼のおじいちゃんのガスでした。そんなキースとギターの出会いの物語。あの日、おじいちゃんのガスと行ったロンドンのあの楽器の工房に行かなければ、ローリングストーンズのキースは生まれなかった。あの楽器工房でキースはギターと衝撃の出会いをするのです。キースはいま350本以上ギターを持っているそうですが、おじいちゃんのガスから譲り受けたギターが一番大切なんだそうです。いまでも、ギターをひくときは、かならずおじいちゃんのガスのことを思い浮かべるんだとか。キースが演奏 朗読するCD付き。渋いキースの声とすてきなサウンド本と一緒に...

